

# 要望書

四日市あすなろう鉄道について



令和8年4月

四日市市

四日市市議会

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

四日市あすなろう鉄道は、平成27年4月に公有民営方式で運行を開始してから、12年目を迎えました。

令和8年度も車両の検査をはじめとした安全運行に欠くことのできない施設更新に必要な予算を要望通り配分いただいたことから、安定した運行や一層の利用者へのサービス向上を、引き続き実現できますことに大変感謝しております。

本市では、国の支援のもと、交通系ICカードシステムの導入や、ホームの改修をはじめとする施設の更新や修繕など、利用環境の改善を進めさせていただいている中で、四日市あすなろう鉄道の利用を促進する様々なイベントを実施しております。

令和8年3月には、これまで10年間支えてくださった利用者や沿線住民の皆様をはじめ、四日市あすなろう鉄道を応援してくださったすべての方々への感謝の気持ちを込めた、「四日市あすなろう鉄道感謝祭」を開催いたしました。当日は、沿線高校にご協力いただくとともに、多くの地域の皆様にご参加いただき、大変盛況なイベントとなりました。

このような取組みにより、四日市あすなろう鉄道は、地域から愛される鉄道として多くの方々に利用され、令和7年度の輸送人員は、開業初年度依頼、実に10年ぶりとなる300万人を超えました。

これからも、通学や通勤に必要な公共交通機関として、安全性の確保及びサービス向上に向けて努力を重ねてまいります。

つきましては、鉄道事業再構築実施計画に基づき、引き続き施設の更新が必要であるため、右記の通り強く要望いたします。

- 令和9年度も法令で定められた車両の検査をはじめとした安全運行に欠くことのできない施設更新に向け、引き続きこれまでと同等の財政支援措置をお願いします。
- 車両の点検や修繕を行う唯一の施設である内部車庫の老朽化に伴う建替えについて、補助事業の採択に向けたご支援をいただきますよう格別のご配慮をお願いします。

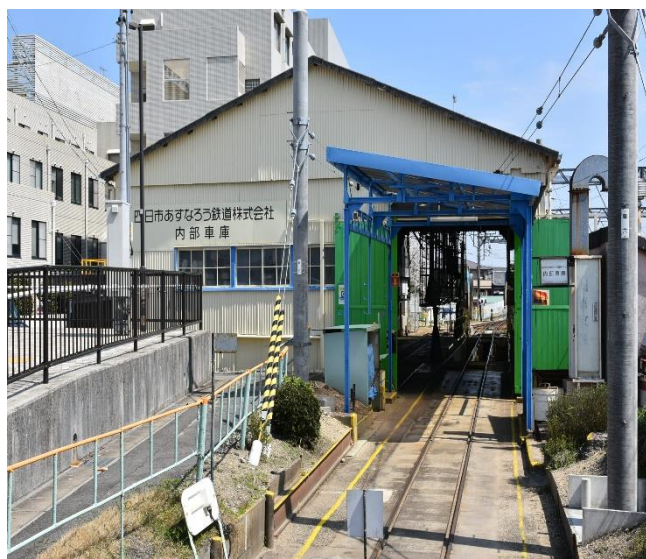
令和 8年 4月

四日市市長 森 智広

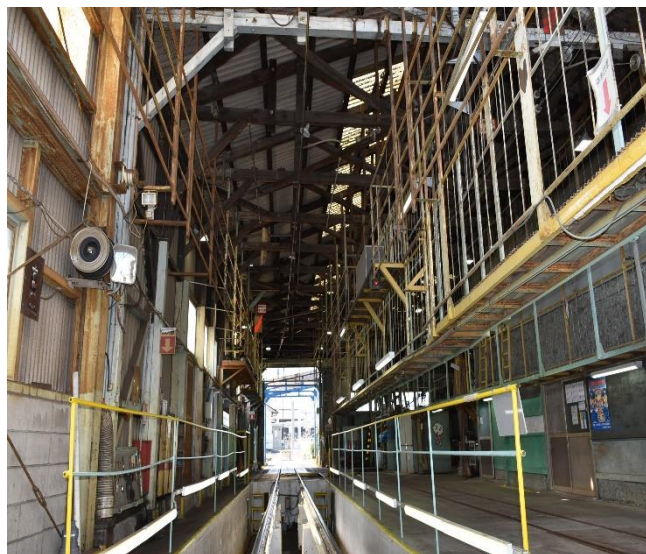
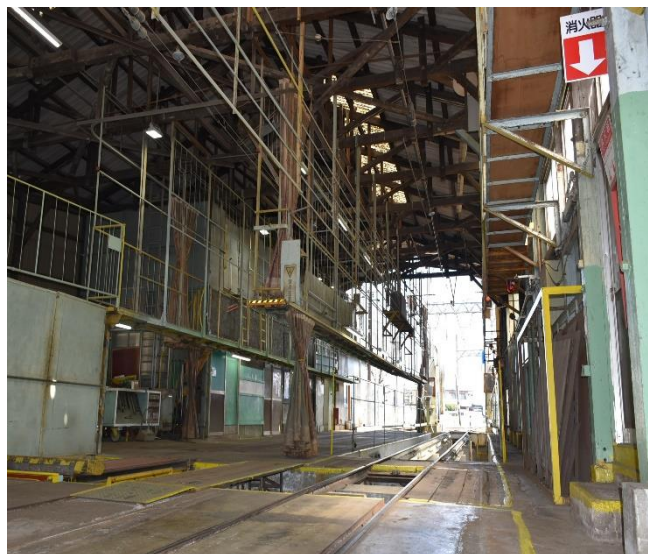
四日市市議会議長 村山 繁生



まくらぎ更新



S.38年に近鉄湯の山線より移築された内部車庫



S.38年に近鉄湯の山線より移築された内部車庫